

研究成果情報 1

[成果情報名] フジザクラ系 LW と D (サクラ 203 及びゼンノーデー 01) との組合せ

[要約] 当場の LW (フジザクラ×W (イワテハヤチネ系統・ナガラヨーク系統・フジヨーク系統)) とデュロック種のサクラ 203 及びゼンノーデー 01 との組合せでは、総合的な産肉成績である上物率が高い値を示した。

[キーワード] フジザクラ・LW・デュロック種

[担当] 山梨畜試・養豚科

[連絡先] 055-273-6441

[区分] 関東東海北陸農業・中小家畜

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

当場は、本県系統豚「フジザクラ」を県内農家に対して払い下げているが、そのフジザクラをベースに、大ヨークシャー種及びデュロック種を交配し肉豚を生産する場合、国等の系統豚との最適な交配組合せについて検定を行うことで、生産性の向上を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 繁殖成績では、産子数及び生時体重で 3 系統の LW 間に有意な差は見られなかった。(表 1)
2. 出荷日齢についても、4 系統の D 間に有意な差は見られなかった。(表 2)
3. 総合的な産肉成績となる上物率は、LW とサクラ 203 (D 2) との組合せで 58.6% と、他の組合せに比べて高くなっていた。(表 2)
4. LW とゼンノーデー 01 (D 4) との組合せでは、上物率が 50.0% と、LW とサクラ 203 との組合せに次いで高い値を示した。(表 2)

[成果の活用面・留意点]

1. 上物率の向上が望める。
3. 出荷は適正日齢、適正重量を厳守する。

[具体的データ]

表 1 繁殖成績

組合せ	腹数 (腹)	産子数 (頭)	生時体重 (kg)	離乳頭数 (頭)	育成率 (%)
LW1×D	8	11.8	1.4	8.8	74.5
LW2×D	9	8.6	1.5	7.2	84.4
LW3×D	9	10.0	1.4	7.0	70.0

※・LW1:イワテハヤチネ(W)系 LW2:ナガラヨーク(W)系 LW3:フジヨーク(W)系

表2 産肉成績

組合せ	頭数 (頭)	出荷日齢 (日)	枝肉重量 (kg)	一日平均 増体重量(g)	背脂肪厚 (cm)	背腰長Ⅱ (cm)	と体幅 (cm)	上物率 (%)
LW1×D1	19	171.6	76.2	686.0	2.5	72.3	33.9	52.6
LW2×	28	183.1	76.3	633.7	2.9	71.8	33.6	35.7
LW3×	5	181.6	74.8	640.4	2.1	73.0	34.2	40.0
LW×D1	52	178.8	76.1	653.4	2.7	72.1	33.7	42.3
LW1×D2	15	184.0	77.0	635.8	2.9	73.0	33.3	46.7
LW2×	3	162.0	76.7	714.0	3.1	77.7	31.6	66.7
LW3×	11	181.5	76.0	629.5	2.6	71.6	33.2	72.7
LW×D2	29	180.8	76.6	641.5	2.8	73.0	33.1	58.6
LW1×D3	64	183.0	75.6	635.1	2.5	71.7	33.4	43.8
LW2×	19	181.4	75.9	633.4	2.6	71.6	33.4	47.4
LW3×	8	177.0	73.8	649.4	2.8	71.5	33.4	50.0
LW×D3	91	182.2	75.5	636.0	2.5	71.6	33.4	45.1
LW1×D4	22	188.2	77.0	615.7	2.7	71.8	35.6	50.0
LW2×	20	173.3	77.1	664.1	2.7	72.6	33.1	45.0
LW3×	24	179.1	76.8	636.9	2.6	71.9	33.4	54.2
LW×D4	66	180.4	77.0	638.1	2.6	72.1	34.1	50.0

※・LW1:イワテハヤチネ(W)系 LW2:ナガラヨーク(W)系 LW3:フジヨーク(W)系
 ・D1:サクラ201 D2:サクラ203 D3:フジロック D4:ゼンノーデー01
 ・一日平均増体重量は、便宜上出荷時生時体重を、出荷日齢で除した。
 ・背脂肪厚は肩・背・腰の平均値とした。

[その他]

研究課題名：系統豚「フジザクラ」の組合せ検定

予算区分：県単

研究期間：1990年度～

研究担当者：金高弘志・赤尾友雪・福沢昭文・牛山市左門

発表論文等：なし